

記入例

農業経営改善計画認定申請書

平成〇〇年〇月〇日

大山町長様

申請者 住所 鳥取県西伯郡大山町赤坂66番地

氏名(名称・代表者) 大山 太郎 印

生年月日 昭和〇〇年〇月〇日生(〇歳)

〈法人設立年月日 昭和〇〇年 〇月 〇日〉

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12条第1項に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画							
① 目標とする営農類型	水稻+野菜+作業受託						
② 経営改善の方向の概要	・水稻と野菜の作業の効率化を図り、広範囲に経営規模を拡大する。 ・生産方法の改善による収量の増加を図る。 ・品質の向上を図る。 ・作業受託の面積を増やし、収入の増加を図る。 ・年間労働時間1,800時間、所得450万円を目指す。						
③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	大山町の基本構想により、概ね350万円以上の目標としてください。 農業所得：農業による収入から必要経費を差し引いた額。						
	年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標						
		現 状		目 標(〇〇年)			
	年間農業所得	2,400 千円		4,500 千円			
	年間労働時間	2,000 時間		1,800 時間			
③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現 状			目 標(〇〇年)		
		作付面積 飼養頭数	生産量	販売金額 (千円)	作付面積 飼養頭数	生産量	販売金額 (千円)
	水稻	250a	12,000kg	1,800	350a	16,800kg	2,520
	ブロッコリー(初夏)	50a	4,500kg	1,485	100a	9,000kg	2,970
	ブロッコリー(秋冬)	100a	9,000kg	2,970	200a	18,000kg	5,940
作業受託(水稻)	600a		690	800a		900	
	合計	1,000a		6,945	1,450a		12,330

③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現 状		目 標(〇〇年)			
	所有地	田	大山町	300a		300a			
		畑							
	借入地	田	大山町	200a		300a			
		畑				100a			
	特定作業受託	作 目		作 業		現 状		目 標(〇〇年)	
						作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	作業受託	作 目		作 業		現 状		目 標(〇〇年)	
		水 稻		田植え 稲刈り		300a 300a		400a 400a	
単 純 計				600a		800a			
換 算 後				300a		400a			
農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業	事業名	内 容		現 状		目 標(〇〇年)			
		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 「作業受託面積÷作業数」により換算した面積。 無い場合は記載不要。 </div>							
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設(書き切れない場合は別紙)	機 械・施 設 名		形式、性能、規模等及びその台数					
				現 状		目 標(〇〇年)			
		トラクター		1台(30ps)		1台(40ps)			
		田植機		1台(5条)		1台(5条)			
		コンバイン		1台(4条)		1台(4条)			
		動噴		1台		1台			
		管理機		1台		1台(乗用)			
		トラック(2トン)		1台		1台(更新)			
	移植機		1台(半自動)		1台(全自動)				
	作業場		1棟(18m×8m)		1棟(18m×8m)				
農 利 用 地 条 件	現 状			目 標(〇〇年)					
	・〇〇集落を中心に耕作			・〇〇集落を中心に、隣接集落で利用権設定をして規模拡大を図る。					
作目・部門別 合理化の方向	作目・部門名		現 状		目 標(〇〇年)				
	水 稻		点在し、作業効率が悪い		農地の集約を図り、品種も統一して効率を上げる				
	ブロッコリー		移植・管理の作業効率が悪い		作業効率の高い機械を導入し、規模拡大を図る				

	現 状	目 標(〇〇年)
⑤経営管理の合理化に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手書きの記帳 ・白色申告 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンソフトによる簿記管理 ・青色申告
⑥農業従事の態様等の改善に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> ・休日が不規則 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制の導入 ・臨時的雇用による労働負担の軽減 ・パソコンによる労務管理
⑦ 目標を達成するためにとるべき措置	経営改善の目標	措 置
	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善の方向 農業経営の規模拡大 生産方式の合理化 経営管理の合理化 農業従事の改善 	<p>【②～⑥までに掲げた目標を達成するための具体的方策を記入してください】</p> <p>※ 農業改良資金等の制度資金の融資や補助事業を受けることを予定する場合はそのことも記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定年度 ・予定資金 <ul style="list-style-type: none"> ・生産物の差別化を図るため、独自の販売ルートを開拓する。 ・利用権設定により、隣接集落の農地を集積する。 ・圃場の団地化及び、高性能機械の導入により作業効率を上げる。 機械導入については補助事業等を活用する。 ・パソコンによる青色申告を行う。 ・労務管理と休日制の導入を図る。

現状、白色申告であれば、5年以内には青色申告をしよう。

	氏名 (法人経営にあつては 役員の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては役職)	現 状		見 通 し	
				担当業務	年間農業従事日数(日)	担当業務	年間農業従事日数(日)
(参考)経営の構成	大山 太郎	40	本人	生産	250	生産	225
	大山 花子	38	妻	生産 経 理	250	生産 経 理	225
	大山 一郎	70	父	生産	250	生産	200
	大山 町子	70	母	生産	250	生産	200
雇 用 者	常時雇(年間)		実人数	現 状	人	見直し	人
	臨時雇(年間)		実人数	現 状	1人	見直し	2人
			延べ人数	現 状	60人	見直し	120人

※参考	認定市町村名	認定年月日	備 考
他市町村の認定状況	1人を60日(1日8時間)雇用した場合。		